

今年4月に開通した都市計画道路3・4・42号線(小山)



平成12年度 全期

平成12年度に行われた主な事業(一般会計)(単位:万円)

款	主 な 事 業	経 費 の 内 訳	
		投資的経費	消費的経費等
1 議会費	議会の活動		7,623
2 総務費	町田市民ホールの管理・運営	2,996	13,783
	広報活動		10,241
	庁舎の維持管理	4,179	67,793
	水道部庁舎の建設	26,205	
	支所・市民センターの管理・運営	15,938	106,866
	交通の安全対策	2,040	4,562
	放置自転車の対策	5,144	14,597
	違法駐車対策		3,457
	事務の電算化		134,665
	市民フォーラム会館の管理・運営 中規模集会施設の建設補助	6,000	15,854
3 民生費	身体障害者・知的障害者の保護措置		151,632
	心身障害者の保護等		256,906
	在宅高齢者へのサービス	115,829	129,279
	高齢者福祉施設の整備		25,387
	老人入院見舞金		5,238
	保育園の管理・運営		28,957
	保育所への入所・運営		360,158
	学童保育クラブの管理・運営 子どもセンターなどの管理・運営 生活保護	3,684	28,462 2,571 478,641
4 衛生費	予防接種		19,616
	成人健診		93,008
	緑地の推進		19,288
	緑地の保全	11,158	6,140
	生活排水の対策		241
	合併処理浄化槽の整備	17,716	7
	塵芥処理施設の運営	40,997	114,985
	ごみの収集	4,746	6,823
	ごみの減量対策		84,026
	し尿の収集		32,246
5 労働費	勤労者の福利厚生		5,550
6 農林費	農業の振興対策		1,015
	ふれあい農業の推進		2,112
7 商工費	都市農業対策	2,250	1
	土地の改良	1,972	6.1
	金融対策 さくら祭りなどの観光事業		120,703 2,643
8 土木費	私道などの整備	4,199	5
	狭あい道路の整備	7,497	30
	道路の維持・補修	3,820	48,432
	道路の新設・改良	72,643	14
	舗装道の改良	16,506	
	水路などの整備	3,200	
	街路灯の新設・維持管理	3,698	17,841
	土地の区画整理	106,500	1,499
	まちづくりの促進	152,415	1,617
	都市計画道路の築造	299,642	
	公園および緑地の管理		46,312
	野津田公園の整備	29,716	6,246
	忠生公園の整備	13,204	2,211
公園および緑地の整備	268,816	1,169	
住宅改良資金の貸付		2,647	
市営住宅の建設	299,328		
9 消防費	常備消防の都への委託		393,240
	消防団の運営		14,300
	消防施設の整備	31,469	6,968
	災害対策	1,260	7,200
10 教育費	小学校の維持管理	459	143,203
	中学校の維持管理	306	81,810
	障害学級の運営		24,435
	児童生徒の健康診断		7,838
	学校施設の整備(大規模改造など)	215,504	
	文化施設の管理・運営	7,275	69,320
	スポーツ施設の管理・運営	14,846	84,094
旭町体育館の改築	113,632	1,345	
12 公債費	地方債の元利償還		679,556

企業会計 「病院事業会計」

平成12年度の市民病院の利用状況は、入院が延べ11万2227人(対前年度比14.6%増)、外来が35万1435人(対前年度比13.0%増)で、料金収入は17.7%増、前年度を上回りました。費用は、前年度の29.7%増で、決算の結果は、3億3291万円の純損失となり、当年度未処分利益剰余金は10億2589万円となりました。資本的収入が資本的支出に不足する額は、内部留保資金等で補てんしました。病院事業会計の利用状況と料金収益等の状況は下表の通りです。

利用状況と料金収益

(税抜き)

収入・支出の状況

(税込み)

	患者数	料金収益		収益的収支	資本的収支
入院	112,227人	40億6499万円	収入額	93億4168万円	4億1488万円
外来	351,435人	32億3361万円	支出額	96億6731万円	7億1136万円

(1万円未満四捨五入)

市債の状況

市債とは、都市計画道路・公園・下水道など大規模な公共施設の建設の財源として市が借り入れるお金で、その返済が長期にわたるものをいいます。こうした施設は、長期にわたって利用することができますから建設時の市民だけでなく、将来の市民にもその経費を負担してもらったことが公平でもあるわけです。市債は、このような積極的な意義をもつものですが、借金であることにかわりはなく、その運用には十分気を付けなければなりません。平成12年度末現在高は129.7億5387万7千円となっています。

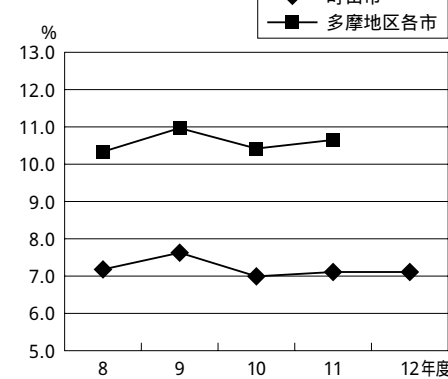
市債の状況

会 計	元 金 残 高	将来負担子見込額
一 般 会 計	712億2286万4千円	143億702万8千円
下水道事業会計	466億2974万4千円	192億9259万2千円
病院事業会計	119億126万9千円	36億5853万4千円
合 計	1297億5387万7千円	372億5815万4千円

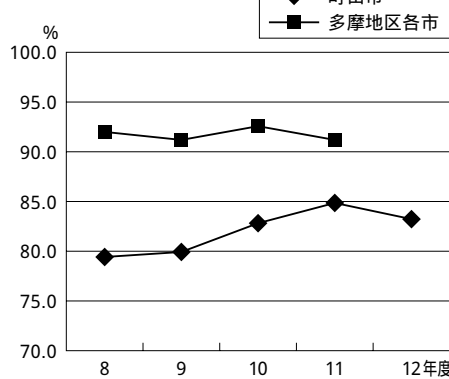
(千円未満四捨五入)

「将来負担子見込額」は、今後支払いが予定されている金額です。

公債費比率の推移



経常収支比率の推移



多摩地区各市の平成12年度におけるそれぞれの指標については、まだ発表されていません。

財政構造指標

経常収支比率と公債費比率は、財政構造を判断するための指標で、町田市と多摩地区各市平均)のそれぞれの指標は、左図のとおりとされています。

経常収支比率とは、経常的経費のために経常的一般財源がどのくらい充てられたかを示す比率(%)です。普通70~80%に分布するのが標準的であるとされています。

公債費比率とは、公債費に充てられる一般財源の経常的一般財源総額に対する比率(%)です。一般的に10%を越えないことが望ましいとされています。